

宮野の宰相、寺内正毅ゆかりの地をめぐる 徒歩ツアー企画

・ 構成員

代表者	：	梶川七生	（ 文化創造 学科 1 年 ）		
会計	：	馬場智子	（ 文化創造 学科 3 年 ）		
指導教員	：	斉藤理	（ 文化創造 学科 ）		
メンバー	：	深田洋	（ 文化創造 学科 1 年 ）	米山ふみの	（ 文化創造 学科 1 年 ）
		浅井美保	（ 文化創造 学科 1 年 ）	中濱結花	（ 文化創造 学科 1 年 ）
		北林健二	（ 国際文化 学科 1 年 ）		

・ プロジェクトの目的

私たちは県立大学のすぐ傍にある旧寺内桜圃文庫の建物が、現在廃屋のようになっているのは大変残念だと感じていました。あの場所の文化的な利活用を考え、この徒歩ツアーを企画しました。この企画を行うことで地域の活性化、宮野地区のアピール、また、この企画をオープンキャンパスで行うことができれば、大学のアピールもおこなうことができると考えたのも目的の一つです。

・ 活動内容

1. 活動報告

7月、8月に宮野地域交流センターにコンタクトをとり、ご協力していただくことになった。密に連絡を取り合い、計画を立てる。

宮野地域交流センターの方に宮野の樹木医の藤原さんを紹介していただき、勉強会を開いていただくことに。

9月には藤原さんの第1回勉強会を開催。寺内正毅や宮野の歴史について詳しく教えていただいた。また、宮野地域交流センターの図書室から資料をお借りしてツアーの原稿を作成開始。

10月、広報用のチラシ、ポスターを作成してツアーの広報を開始。宮野地域交流センターをはじめ、山口駅、宮野駅など約40ヶ所にチラシやポスターを置かせてもらった。

藤原さんと第2回目の勉強会を開催。実際にコースを歩き、ご教授を受けた。

10月26日、第1回目のツアーを開催。参加者12名。あいにくの雨だったが12名もの人に参加していただいた。秋吉などの遠方の方やメディアの方にも参加していただくことができ、地元の人も知らないような場所をご案内して参加者の方に喜んでいただけた。

第1回目のツアーを振り返りつつ、反省会を開催。2回目をより良いものにするため、メンバーで話し合った。

宮野駅



大学図書館



寺内元帥の墓



11月19日、参加者10名。第2回目のツアーを開催。この日もあいにくの雨だったが10名の方に参加していただいた。1回目と2回目、両方とも参加していただいた方もいた。今回もお墓の大きさなどに参加者の方は驚いたり喜んだりしていただき、雨だったがいツアーを行うことができた。

11月26日、宮野地域交流センターの方に感謝の意を伝えるために、報告会を開催。

1月19日、YPU ドリームアドベンチャープロジェクト成果報告会にて活動の成果を発表。協力していただいた方をご招待した。出席された方々から貴重な意見をいただくことができた。

2. アンケートにおける参加者の声

- ・日本の礎となって亡くなられた陸軍墓地をもっと市民に知らせ平和の有り難さを知ってほしい
- ・10年ほど前からあの寺内邸には何が入っているんだと謎に思っていたが、今回で知ることができよかった
- ・学生が調査し、チームワーク良く一生懸命で説明されたことは気持ちよかった
- ・宮野の各地の各所旧跡など引き続き開催してほしい

アンケート結果で、1回目の満足度より2回目の満足度が飛躍的に伸び、とても喜ばしい結果がでた。

3. 徒歩ツアーのコース

宮野駅・・・当時、駅を作る際にどこに作ればと悩んでいる時、寺内元帥が「わしの家の前につくるがよかろうぞ」と言って今の場所に宮野駅が作られたといわれている。

旧寺内桜圃文庫・・・約1万6千冊もの書籍が蔵書されていた。地元の人にとって大事な学びの場となっていた。

県立大学図書館・・・寺内文庫を移設した場所。現在寺内文庫は整理、修復中。

寺内元帥の墓・・・4mほどもあるお墓。息子である寿一のお墓も同じ場所にある。

陸軍墓地・・・旧山口陸軍歩兵第42連隊のお墓。335名が眠っている。

石風呂観音・・・石風呂とはお風呂の前身で、今でいう岩盤浴のようなもの。

中国新聞 2011-10-27



陸軍墓地



寺内元帥



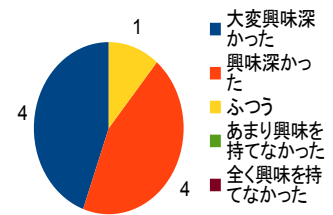
寺内桜圃文庫



4. メンバーが学んだこと

- ・人との繋がり大切さ
- ・人前で話をし、わかりやすく説明することの難しさ
- ・資料などの調べ方
- ・本番の臨機応変に対応することの大切さと難しさ
- ・宮野地区に様々な歴史的なものがあるということ
- ・寺内元帥のお墓のように、地元の方でも知らない史跡が数多くあるということ

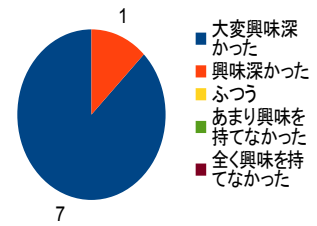
1回目の満足度



5. 今後の展望

- ・きちんとした組織を設立すること
- ・今回の企画を通して築くことのできた地域の方とのつながりを今後も継続し、生かしていけるような企画をする
- ・今回は学生の参加が少なかったため、もっと学生が参加しやすいように企画を工夫する
- ・後輩に引き継いでもらえるような体制づくり

2回目の満足度



・成果及び感想

この「宮野の宰相、寺内正毅ゆかりの地をめぐる徒歩ツアー」は始めは不安だったけれども、地域の方の協力を得て、成功させることができました。アンケートでも一回目よりも満足度が飛躍的に上昇し、私たち県大生に期待しているといった声を頂きました。また、宮野地域交流センターの方々など、地元の方々と親交を深めることができたのがとても大きいです。地元の方々から、またこういった企画をおこなってほしいと言われたのも非常に嬉しく感じました。

加えてこのツアーで学んだことは、人との繋がりです。この企画は自分たちだけではここまで成功させることは決してできませんでした。地元の方々のご協力してくださったからこそ、ここまでいいものができたのだと思います。紹介していただき、またその人から協力してくださる方を紹介していただく。人とのつながりが広がっていくのを、メンバー一同肌で感じることができました。

・指導教員のコメント

今回の企画のように大学生が積極的に地域に出ていき、地元の方から地域史やエピソードを教えて頂きながら「ひとつのまち歩きコースを創っていく」、こうした活動が各地で盛んになってくると、山口県の新しい観光のスタイルになってくるでしょうし、今回の試みがそうした流れの一つのきっかけになればと、期待しています。今後は、定期的な開催と、参加者を呼んでくる仕掛けづくりが重要になってくると思います。

・収支報告

配分額		35,000 円
支出内訳	勉強会のお礼	3,000 円
	事務用品費、コピー代	10,119 円
	保険代	1,120 円
	イベント広告費	4,500 円
	郵送代	2,840 円
支出合計		21,579 円
残金		13,421 円